

2022年度 学校法人イエス団甲子園二葉幼稚園自己評価シート

1 甲子園二葉幼稚園の教育目標

キリスト精神に基づき、「人を愛する心」「自然を愛する心」「真理を求める心」が一人ひとりの成長に合わせて育まれ、神と人に愛される人を育成することを目的とする。

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

- ①聖書の信仰に固く立ち、神様に愛された「大切なひとり」である子どもの育ちを援助する。
- ②「ミッションステートメント2009」の実現に努める。
- ③子どもたちが安全で安心して過ごせる保育環境整備に取り組む。
- ④長年両輪として歩んできた甲子園二葉教会との協力関係を維持し、2023年度に迎える100周年に向けての準備をする。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果
①聖書の信仰に固く立ち、神様に愛された「大切なひとり」である子どもの育ちを援助する。	子どもは神様に愛された「大切なひとり」であることを日々の礼拝、保育の中で語られ、実践することができた。当園は「キリスト教保育」「子ども中心の保育」「異年齢保育」という3点を掲げているが、その中心に据えられた建学の精神として継続させていく。
②「ミッションステートメント2009」の実現に努める。	「自然が大切にされる社会をつくりだす」「いのちが大切にされる社会をつくりだす」を中心に実践の中で展開できた。特に2022年度は、年度途中で在園児が天に召されることがあり、いのちについて園全体で考える機会が深くあった。
③子どもたちが安全で安心して過ごせる保育環境整備に取り組む。	園長が新任であったため、保育の中の危機管理について観点を一緒に増やしていく一年となった。危機管理も含めた保育環境の整備について確認する機会もあり、新年度に向けての準備となった。
④長年両輪として歩んできた甲子園二葉教会との協力関係を維持し、2023年度に迎える100周年に向けての準備をする。	「甲子園二葉幼稚園創立100周年記念事業実行委員会」を実施し、記念事業の準備を定期的に行った。また二葉教会から派遣されている「見守り隊」が毎日、当園時の門の見守りを行っている。

4 2022年度学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

甲子園二葉幼稚園が持つ教育的雰囲気は、キリスト教保育に基づいた子ども中心の保育の中で日々働く教職員によって長年培われてきたものである。その教育が信頼され、この地域において長きにわたり教育を継続させ、今年で100周年を迎えることは素晴らしいことである。しかしどの教育現場にも常に課題があるように、当園においても解決すべきことはあるので、謙虚な思いをもって、子どもたちのために、新しいことを学びながら、実践に結び付けていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具合的な取り組み状況
子どもを見る目、遊びを見る目を養う	・子どもの発達を踏まえた遊びを中心におき、子どもの姿をしっかりと捉え、遊びの充実を図るよう、事例検討等を通して保育力を磨いていく。

研修の充実	・園内研修の充実及び外部研修を活用し、目的を明確にしながら、計画的に研修を進めていきたい。
インクルーシブ保育の充実	・異年齢クラス編成の中で、違いを認め合い、共に育ち合う仲間として、すべての子どもたちの成長を願う。
組織運営体制の確立	・教職員体制の課題が明確化された中で、組織の中での個々の役割や課題を再認識する。 ・勤務時間管理を含め、教職員の就業における課題を再確認する。
施設整備計画の検討	・園庭については、リスクマネジメントの視点を持ち、園児にとって安心して安全な環境を提供していくことができるよう十分な話し合いを持って検討する。 ・既存園舎の内部改装及びトイレ改修、エレベーター、厨房について長期的な計画を立て、検討する。

6 学校関係者の評価

監事監査会及び評議委員会に対し報告を行ったが、特に指摘すべき事項はなく適正との評価を得た。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

8 情報の公開

法人のホームページ及び自園のホームページに掲載。アドレス…<https://futaba-kjesusband.jp/>

2023年5月11日理事会にて報告